



山車

「成実囃子」と呼ばれる音楽や掛け声と山車が列を連ねる「山車のパレード」は、迫力があり見応えばっちりです！
 ※42年の歴史を持つ鼓笛隊に代わり、平成19年度から始まった新たな取り組みです。



湾岸の近くで夏祭りが行われ、
 花火が上がるため、
 水面に反射した花火も見どころです

亘理町では震災からの復興を目指し、様々な取り組みがされています。

例えば、海の近くにあり甚大な津波被害を受けた「わたり鳥の海温泉」の建て直しやマリンスポーツ体験、鮮魚、地元野菜、工芸品など、亘理町でしか感じられないものがそろった「亘理の宝船」として地元の方々に親しまれている「鳥の海ふれあい市場」営業再開など、こうした努力から少しずつ被害を受けた場所も賑わいが戻ってきたように感じます。そんな中でも私は地元の人から親しまれてきた夏の風物詩、「わたりふるさと夏祭り」をとりあげました。

わたりふるさと夏祭り



花火

40分の間、約4,000発ものスターメインや乱玉連射等、最大5号玉を含む花火が打ちあがります。ラストにはコンピューターで音楽と花火をシンクロさせて音楽の曲調に合わせた演出を行う「ミュージックスターメイン」があり、最後の最後まで楽しめるようになっています (^_^)



追悼供養行事「灯籠流し」、湾内に流れる幻想的な光景は見どころの一つとなっています。
 震災後、数年間は夏祭りを開催することができず、灯籠流しのみ行う「鎮魂のタベ」が行われていました。

灯籠

